

2021 年新年会(オンライン)挨拶

2021 年 1 月 15 日(金)19 時
大使公邸

皆様、新年明けましておめでとうございます。

毎年、ブラジルの日本大使館では大勢のお客様を招いて新年会のレセプションを開催しておりましたが、本年は COVID-19 の感染という状況の中、オンラインでブラジルの皆様、特に日系社会の皆様にご挨拶をすることにしました。

昨 2020 年、我々は新型コロナウイルスによる未曾有の困難に直面しました。その中で、ブラジル全国の日系団体は、セミナー、日本祭り、盆踊り等、各種のイベントをオンラインで開催するなどの創造的な試みに積極的に取り組みました。私自身もライブやビデオメッセージの形で全伯の多くのイベントに参加し、困難を乗り越えようとする日系社会の努力に感銘を受けました。

また、日系社会及び在ブラジル日本企業の皆様が、食料及び感染防止用品の配布や医療サービスの提供等を通じて、ブラジル社会に大いに貢献したことに対して、改めて深甚なる敬意を表します。

2020 年の日伯関係を振り返ると、コロナ禍の困難な状況下でも、保健・医療、環境、防衛、科学技術、学術交流など、様々な分野における協力が着実に進みました。

そして、本年 2021 年の日伯関係は、茂木外務大臣のブラジル訪問という大きなイベントから始まりました。この訪問は、コロナ禍が始まってから最初の外国外務大臣のブラジル訪問となり、「日本がブラジルとの関係を重視している表れである」としてブラジル政府は大臣訪問を大歓迎しました。

茂木大臣は、ボルソナーロ大統領を表敬し、アラウージョ外務大臣と会談を行いました。長年にわたる友好協力関係を有し、自由、民主主義、法の支配、人権と言った基本的価値を共有する日本とブラジルが、「戦略的グローバル・パートナーシップ」の下、二国間のみならず、国際場裏でも、協力関係をさらに発展させていくことで一致しました。

茂木大臣の訪問の成果を踏まえ、日ブラジル間の幅広い分野での協力・交流を促進するよう努めていきます。

2021 年、日本では、延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本では、多くの人々が安全・安心な大会の開催に向けての準備を進めています。私も、日本とブラジルの選手の活躍を大いに期待しているところです。

私は、常々「今日の、日本とブラジルの緊密な友好関係を作った大きな要因の一つは、日本人移住者、日系人の存在である」と述べています。彼らは移住後大変な苦労も味わいましたが、ブラジルにおいて勤勉に努力を重ね、ブラジル社会の信頼を勝ち得て、ブラジルの発展に大きく貢献しました。

こうしたブラジルの日系社会が、「日系」としてのアイデンティティを保ちなが

ら、世代をつないで、さらに発展していったほしいというのが私の願いであり、そのためにも日系社会と日本との連携と協力をさらに深めたい、というのが私の目標です。

ブラジルの日系社会が、州を超え、国境を越えてネットワークを広げ、さらに発展するよう、若い世代への支援も含め、できる限りの後押しを行っていきます。また、在日ブラジル人コミュニティとの絆を深化させていきたいと思います。

現在、コロナのためにブラジルの日系団体の活動も大きな制約を被っています。日本政府は、皆様の活動を少しでも応援するための予算を昨年末に閣議決定し、国会承認を待っているところです。この予算の活用について、皆さんと協議していきます。

2020 年中は、ブラジル国内の出張もできませんでした。今年は、ブラジル各地の皆様と、オンラインだけではなく、対面でも会えるようになることを楽しみにしています。

2021 年が日伯両国にとって飛躍の一年になるように、そして、今日の新年会にご参加の皆様の御健勝を心から祈って、私のご挨拶といたします。

良いお年を！ どうもありがとうございました。

(了)